

# 2019年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間小学校
-----	-----------

## 1 学校教育目標

夢に向かってたくましく歩む子の育成

## 2 今年度の学校重点目標

- よい授業づくり  
「めあて」の提示と書いてまとめる「振り返り」、「主体的に学びたい」と思う仕掛けのある授業、学習に応じた「対話的な話し合い活動」の工夫、「深い学びのある質の高い」授業の創造、基礎学力の向上
- よい授業のための日常の習慣づくり  
気持ちの良いあいさつ、場に応じた話し方、整理整頓
- よい授業のための環境づくり  
安全配慮、工夫された教室廊下等の掲示物  
落とし物やゴミのない学校

## 3 総合的な自己評価

昨年に引き続き、「学校が楽しい」「クラスの人たちを大切にしている」において、90%以上の肯定評価であり、おおむね良好な結果と判断できる。家庭学習への取り組みにおいては、課題がみられるため、習慣化を目指し、学校と家庭が連携しながら子どもたちの学習への意欲を高められるよう取り組みを継続する。気持ちの良いあいさつや言葉遣いの定着を図っていく。

## 4 総合的な学校関係者評価

今後も学校と家庭・地域が連携を取り、「学校が楽しい。」という気持ちで、日々の学習活動や学校生活が送れるよう、協力していきたい。オープンスクール等子どもたちと顔を合わせる機会を通して、子どもの育成に関わってきたい。継続した今後の取り組みに期待する。

## 5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と情報収集について	定期的、臨時的に学校だより、保健だより、学年通信、HP等を通じて家庭や地域への情報発信に努めた。アンケートにより、意見収集を行い、次年度に向けての確認ができた。	今後も継続して実施していき、更なる開かれた学校づくりを目指していく。	学校だよりにより、学校方針や月々の近況を伝えていただき、開かれた学校づくりがなされている。
	住民参加の教育活動について	図書ボランティアや老人クラブ・民生児童委員・地域の方との交流も定着している。参加していただく人数も増加しつつある。	今後も学校支援ボランティアの活用を継続し、より効果的にしていきたい。	子どもたちの懸命な姿に心打たれる。今後でもできることから協力、参加させていただく。
学力向上指導改善プラン	言語活動の充実について	表現力を付けるために、話し合い活動をあらゆる授業に取り入れ、ペアやグループ等で意見交流を行う機会を増やすことにより、力を発揮する姿が見られた。	自分の考えを説明したり、まとめたりする場の設定を増やしていく。	グループでの発表は、考えをまとめる習慣ができ、大変良いことである。記述力や表現力の向上には、豊かな語彙力が必要である。
	基礎学力の向上について	学校司書の配置や図書ボランティアの活動により、本に接する機会が増えていることもあり、読解力が伸びている。ひょうごがんばりタイムの実施において、本年度は学年別を実施することにより、個別学習の充実を図った。	読解力の伸びを記述で表現できる力に活かしていきたい。がんばりタイムを継続して取り組んでいく。	読書量が増えた理由として、学校司書の先生の努力によるところが大きい。子どもたちの読書意欲は増し、習慣づけになったと思われる。家庭読書の定着に向け、保護者への啓蒙も大切である。学校側の学力向上に対する取り組みと効果を評価する。
学習指導	授業づくりについて	「めあての提示」「書いてまとめる振り返り」が定着し、その取り組みが結果となって表れてきた。	担当者会で得た情報を速やかに共有し、自己の授業改善に役立てる。	今後も授業改善に向け、児童それぞれの持つ特性を見つける工夫が大切である。
	指導力の向上について	11月には、外国語活動の授業研究会を開催することができた。また、一年を通して、全員1回公開とし、外国語活動を中心に研究授業を実施できた。	来年より始まる新学習指導要領を考慮しながら、授業力向上を図るため、授業研究や夏季休業中の研修の場を活用する。	グローバル時代の今日、早期の外国語の取り組みは素晴らしく、抵抗のない子が育つ。
	学習習慣の確立について	年度当初に、家庭学習の定着・充実のために、学年に応じた手引きを作成し、保護者と意識共有することで、昨年度より意識はわずかに高まっているものの温度差がある。家庭学習の定着が困難な児童に対して、放課後等の時間を利用して個別に指導に当たった。	更に家庭学習及び家庭読書の定着に向けて取り組む必要がある。	読書は読解力の基本であり、大人になって効果も出てくる。外国語教育に関する授業は、重要で、学校内のみならず生活全般に関して機会を設けていくことも大切である。
特別支援教育	特別支援学級在籍児童についての共通理解と支援体制について	年度初め、年度末に在籍児童の指導や状況について共通理解を図り、個に応じた指導のあり方を確認した。年度末には引き継ぎを兼ね、指導の状況の共通理解に努めている。	児童の引継ぎを丁寧に行いながら、継続した支援体制をとっていく。	支援体制について敬意を表すとともに、今後も継続して実践していただきたい。
	普通学級在籍児童で、支援を必要とする児童実態把握と支援について	児童の状況を把握し、巡回相談、教育相談等保護者とも連携しながら活用を進めている。支援体制の確認・児童理解のための研修を年度初め、年度末に行っている。	できるだけ早い時期に児童理解研修を実施し、全職員、共通理解のもと同じ方向性をもって指導に当たりたい。	児童の理解と把握は大切であると感ずる。
人権教育	子どもたちの人権意識を高める取り組みについて	人権掲示板を活用し、物事のとらえ方、考え方について分かりやすく示している。授業づくりにも力を入れ指導している。やさしさ発見朝会が定着化し、全校生で共有する場が持った。	やさしさ発見の日(毎月15日)を効果的に活用するための具体策を考える。	あいさつは人を大切にする気持ちとしてとらえ、人権教育にも力を入れて、日々子どもたちの心を育ててくださっていることをうれしく思う。人権の意識は目に見えにくいものであり、意識が行動として出たときに初めてわかる。引き続き、健全な人間関係についての取り組みが重要である。
	保護者への啓発について	学期に1回「人権はさま」を発行し、学年での取り組み内容を伝えている。また、今年度より、感想欄も設けることができた。人権講演会への参加啓発を行い、昨年度より参加率が高かった。	人権懇談会や研修会で保護者と共に意見交流できる機会を持ち、さらに交流を深めていきたい。	人権掲示板は、大人も心の振り返りができ、とても良い勉強になる。子どもだけでなく、保護者・地域等あらゆる人を大切にするという意識を持ち、交流を継続していきたい。
生徒指導の充実	いじめ防止基本方針に基づく予防的生徒指導について	いじめアンケート、QU アンケート、はさまっこアンケートの実施により、多角的に児童の現状把握に努めている。毎月各クラスからの報告で情報共有している。	報告・連絡・相談を密に早期対応・情報共有の更なる徹底に努める。	児童それぞれの個性に合わせた指導を今後も継続してほしい。
	児童についての共通理解と組織的対応について	年度当初に児童理解研修を行い、全職員の共通理解を図った。複数対応を心がけ、情報の共有と対策の協議を行った。特に朝の保護者からの連絡を重視し、迅速且つ一貫した学校対応を行うことができた。	生指事案など経過報告を含め、組織的に早急に共通理解を図りたい。必要に応じて関係機関との連携を図る。	引き続き、丁寧な継続をお願いする。
	基本的な生活習慣と自主性の育成について	挨拶運動や時間を守るなど生活習慣の啓発を継続することにより、安心できる環境作りに努めた。	保護者との連携を密にし、生活の安定を図る。	素直な子どもが多く、友だちを大切にする関係も強く感じる。下校見守り時、明るく返事をする子どもが多い。健全な育ちとなっていると思う。

## 6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
1学期	前期児童アンケート・QU アンケート(第1回)・いじめアンケート 保護者対象行事(運動会)アンケート
2学期	いじめアンケート・保護者対象行事(音楽会)アンケート
3学期	後期児童アンケート・いじめアンケート QU アンケート(第2回)・保護者アンケート・教職員による学校評価

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
7月13日	第1回学校地域運営協議会 学校経営・1学期の教育活動・学校行事・地域での児童の様子 学校と地域の連携・学力向上指導改善プラン
12月11日	第2回学校地域運営協議会 授業見学・2学期の教育活動・学校行事・地域での児童の様子 学校と地域の連携・学力向上指導改善プラン・学力学習状況調査結果
3月10日 中止	(第3回学校地域運営協議会中止の為、紙面にてご意見をいただいた。) 本年度の教育活動・学校行事・地域での児童の様子・学校評価 学力向上指導改善プラン・学校と地域の連携・本年度の成果と課題

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

## 8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
4月	PTA 総会	前年度の学校評価を踏まえて、今年度の取り組みを説明	
3月	保護者宛文書	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。保護者配付。	○
3月	学校ホームページ	学校評価(保護者評価・児童評価・教職員評価)の結果及び考察、今後の取り組み予定、改善策を記載。	

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います